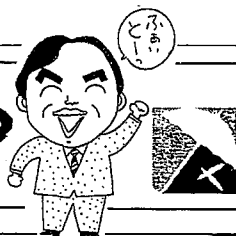


お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
kasagi@potato.hokkai.net

味わう。深まりいく秋。

農村部では、収穫後の後片付け作業を舞台に、雪虫が舞いを披露しています。深まりいく秋をいかがお過ごしでしょうか。かおる通信68号をお届けします。ご高覧いただき、ご指導くだされば幸いです。



「夢を大切に」。激励のつどいであいさつ。



「笠木かおる・激励のつどい」が9月4日、旭川トーヨーホテルで開催されました。笠木かおる連合後援会（山川博千会長）の主催。会場には650名を超える皆様においでいただき、そのご親切を思うと、身の引き締まる思いでした。皆様に感謝して「一つひとつの課題を丁寧に解決していく」と決意を述べさせていただきました。人口減少、少子高齢社会に向き合い、「強い経済」、「人に優しい旭川」づくりに全力を尽くしてまいります。



旭川市議会・第3回定例会は9月16日に開会し、25日間の会期で開かれました。私は会期中、補正予算や25年度決算について、3回の質問にたちました

除排雪の充実で質問。

9月18日、補正予算等審査特別委員会で除排雪の充実について質問しました。

このなかで、今年の冬から生活道路交差点には出来る限り雪を堆積せず見通しの悪さを解消することが答弁されました。また、除雪出動基準は、深夜0時現在15cm以上の降雪があった場合とされていますが、朝方の「ドカ雪」や「基準未満の降雪が連続して続く場合」に際しても出動するとの考えが示されました。

私は、除雪車両にGPSを搭載し、除雪車両の軌跡を市が把握、一括制御・管理するシステムをつくり、多様な降雪状況と苦情に対応する機動性ある除雪体制も求めました。

豊岡と東旭川に、新「地域包括支援センター」。

補正予算等審査特別委員会では、地域包括支援センターのあり方についても質問しました。このなかで、現在の4条23丁目にある「豊岡・東旭川地域包括支援センター」を廃止し、豊岡3条3丁目に新設される「東部まちづくりセンター」と東旭川支所に、それぞれ「新しい地域包括支援センター」を整備することが答弁されました。来春、豊岡と東旭川に2つの地域包括支援センターが誕生します。

市内最大のビック大会。「笠木かおる杯」。

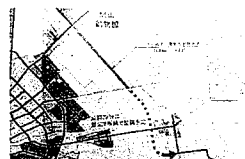


旭川市内最大規模のパークゴルフ大会、「第14回笠木かおる杯」が8月23日、パークランド嵐山で開かれました。大会には404名の選手がエントリー。はつらつなプレーで汗を流しました。これからも「パークゴルフの振興で健康都市づくり」に努めていきます。

尚、優勝者は次の通りです。

- 71歳以上の部男子 優勝 佐々木倉吉 スコア95
- 71歳以上の部女子 優勝 高橋次子 スコア102
- 70歳までの部男子 優勝 白井治夫 スコア94
- 70歳までの部女子 優勝 須藤幸子 スコア102

地域高規格道路・東旭川東神楽道路の整備



地域高規格道路の東旭川東神楽道路の整備が始まりました。沿道の工業団地や旭山動物園と旭川北インターチェンジ、旭川空港を結び、物流の効率化と観光振興をめざす道路です。

旭川市の長年の整備課題であっただけに、事業決定したことに胸をなでおろす気持ちです。27年度、用地買収が始まります。

市民との意見交換会を開催。



8月29日、旭川市議会本会議場で「市民と議会との意見交換会」を開催しました。テーマは、市役所新庁舎の建て替えについて。新庁舎の場所、規模、機能等について、様々な貴重な意見がありました。今年度の「新庁舎立替プラン」の作成や、27年度に予定される「新庁舎建設の基本構想」にしっかり反映させていきます。

2014・共生園まつり

日本の演歌歌手、旭川出身の水田電子さんを特別ゲストに今年の共生園まつりが8月2日、共生園特設会場で開かれました。地域・家族・スタッフの皆さん、そして主役の利用者の皆さんが一体となって、「熱いまつり」を楽しみました。



【近況】長女・亜以夫婦と孫3人の6人生活。次女・香菜は遠くジャマイカでの生活です。最近、茶の間のテレビが壊れ、市政相談室は連日、孫3人達で「満員御礼」です（笑）。

ホームページで写真付ブログを毎日発信中です。

笠木かおる

検索

平成25年度決算を認定



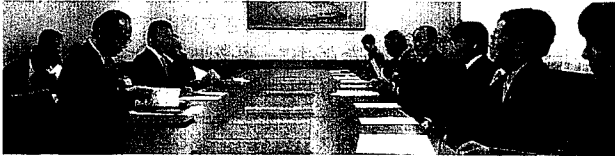
旭川市議会第3回定例会市議会は、平成25年度の旭川市決算を認定しました。私は10月1日と3日の両日、下記の視点に着眼し、理事者の考えをただし、いずれも前向きな答弁がありました。

- 信号機や道路標識など、交通安全に関する地域要望の解決率が低い。警察と市役所と住民の間の「要望システム」を改善する必要がある。
- 自転車による痛ましい死亡事故が発生している。自転車と歩行者に優しい道路環境とマナーづくりが急がれる。
- 自動体外式除細動器（AED）の普及が進んでいる。市内の設置状況の把握が必要だ。また、119番受信の際、指令台よりAED情報を瞬時に提供できるシステムを導入できないか。



- 市民文化会館と大雪クリスタルホールの運営に「指定管理者制度」を導入する計画であるが、本市の芸術文化行政の拠点施設を運営できる「受け皿」は存在しているか。
- 教育委員会の事務に関する評価は高いが、「学校の適正配置の推進」に関する事業は遅れている。学校教育基本計画の中間見直し、次期適正配置計画の策定などをしっかり行う必要がある。

母校・市立旭川小学校の立て替えを要望



建築から44年を経過している母校・市立旭川小学校。10月10日、同校同窓会（石場實会長）、同校PTA（五十嵐勉会長）、東旭川中央地区市民委員会（井田友三会長）、JA東旭川農協（小山光昭組合長）、同地区商工会（円山宏一代表）の5者代表とともに老朽化している校舎の全面改築を西川将人市長と小池語朗教育長に要望しました。

「改築の最優先校」と正式に位置づけられるよう、関係者とともに引き続き努力していきます。



アイヌの誇りを観る。



9月23日、アイヌの人々の聖地、神居古潭で「こたんまつり」が開かれました。道路が開通されていない時代、人々の交通手段は石狩川でした。神居古潭には、その要所を困らせる「魔神」がやどっていたという伝説もあります。交通の安全を祈る儀式は、アイヌの人々によって今なお、引き継がれていました。



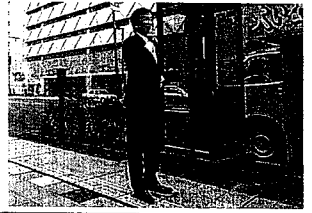
ラジオ体操の普及に取り組んでいます。

体操連盟功績者表 旭川市ラジオ体操連盟（喜久永顕博会長）の功労者表彰式が10月5日行われました。ラジオ体操が始まって86年。全身を使う手頃な素晴らしい体操を広めようと、日々努めています。



「街行く市民の皆さん！」

街頭でマイクを握ることに心がけています。強い産業基盤、心豊かな地域社会、公平・公正な行政運営などについて話をしています。「平明」に、わかりやすく話すことは、本当に難しいと思いがらの街頭アピールです。



共同募金「赤い羽根」の活動



1947年にスタート、戦後復興とともに歩んできた赤い羽根の募金。町の人のやさしい気持ちを届ける活動です。このほど、東豊中央地区社会福祉協議会の皆さんと街頭活動に参加しました。「思いやりの心」を感じたひと時でした。

365日毎日が「敬老の日」。

8月末から9月敬老の日まで、多くの敬老会にご案内をいただきました。「議員の仕事は365日毎日が敬老の日です」。敬老会の挨拶に好んで使わせていただく自分のフレーズです。旭川市内の65歳以上人口は、101,000人。その内、75歳以上の方は50,000人に達しようとしています。豊かな老後社会づくりに微力を尽くす思いで活動を進めます。



旭商同窓会



9月20日、市内ホテルで盛大に旭商同窓会が開かれました。何故か、同級生や学生当時の先輩に会うと青春時代が「つい最近」だったような感覚になります。振り返ると高校時代が一番楽しかった自分です。

「最終学歴・旭商高校卒」は、自分の誇りです。



旭川神社・抜穂祭

収穫を祝い9月22日、旭川神社抜穂祭が斉行されました。豊作の秋ですが米価の値下がりにより、農家の皆さんは大喜びできない状況です。TPP阻止と訴え政権に就いた自民党。しかし、現政権はTPP妥結に向けた外交を続けています。消費税値上げに際し国民と約束した「値上げ消費税分は社会保障費に使う」「値上げする以上、国会議員定数を削減する」。「政治の約束事は随分と軽い」と思う最近です。



議員活動15年表彰



このほど、笠木かおる連合後援会幹事会で「議員活動15年表彰」のお祝いをしていただきました。この15年間、恵まれた後援会で議員活動できたことに感謝して、美味しく「祝い酒」をいただきました。

日頃のご支援に心から感謝します。たゆまぬ努力、全力で働きます。